

もっと身近に

# 男女共同参画

◎協働まちづくり課

外国人活躍・共生社会推進室

TEL44・3138

絵本で始める男女共同参画 ～夏休みは読書のチャンス～

子どもは周りの大人や社会、そして絵本やアニメなどのフィクションから多くの影響を受けて成長します。絵本を通して幼いうちから様々な個性を持った人のことを知ることによって、自分の中の多様性の発見や周りの人の多様性を受容する下地づくりができるのではないのでしょうか。

また、大人が男女共同参画に触れるきっかけとしても、絵本は役立つツールです。男女共同参画の視点から選んだお薦めの本を紹介します。

## せかいでさいしよにズボンを はいた女の子(光村教育図書)

キース・ネグレー 著 石井睦美訳

約150年前は、女の子がズボンをはくなんてありえない時代でした。なぜズボンをはいちやいけ  
ないの？当たり前前ってなに？自分で考え、行動した女の子のおはなしです。

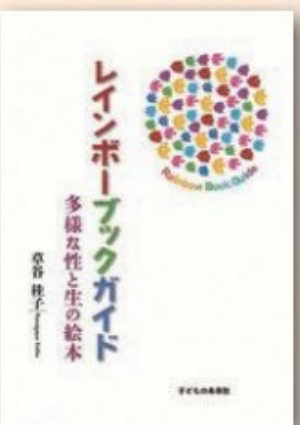


## レインボーブックガイド 多様な性と生の絵本(子どもの未来社)

草谷桂子 著

レインボー(虹)は多様性を表す象徴です。

この本では、232冊の絵本を「自分らしく、あなたらしく」「多様な性・多様な家族」「子どもをとりまくさまざまな問題」などのテーマに沿って紹介しています。



そのほかのお薦めの本は、市ホームページ内の「BOOKリスト」に掲載しています。一部の本は、市立図書館(袋井図書館・浅羽図書館・月見の里学遊館図書館分室)で借りることができますので、ぜひ足を運んでみてください。子どもはもちろん、普段読書をする時間がない大人の方も、夏休みやお盆休みに本を通して男女共同参画について考えてみませんか？

